

## 金融経済講演会 挨拶

皆さん、こんにちは！

北海道金融広報委員会の委員で、日本銀行旭川事務所長の安藤伸次です。

秋を感じさせる今日この頃となっておりますが、本日は皆様、お忙しい中、「金融経済講演会」に多数ご出席いただき、誠にありがとうございます。生島ヒロシさんの講演に先立ちまして、主催者として、ひとことご挨拶と講師のご紹介をさせていただきます。

まず、本講演会は北海道金融広報委員会の主催です。北海道金融広報委員会というのは、日本銀行、政府、地方公共団体、金融関係者などが集まり、広く中立・公平な立場から、「暮らしに身近な金融関係情報を皆様方に提供する」活動を行う団体です。本部として、東京に金融広報中央委員会（日本銀行情報サービス局が事務局）があり、各都道府県に地方組織が作られております。

北海道では、高橋はるみ知事を会長といたしまして、日本銀行札幌支店が事務局を行っております。旭川では、これまで旭川の金融関係者を中心に活動しており、「金融に関する見学、説明会」や「パネル展示」、さらには昨年から「金融座談会」を開催してきております。各種の金融経済情報を皆様方に提供する機会を作るべく努めて参りました。

今回は、日本銀行旭川事務所が開設60周年を迎えた機会を捉え、皆様方がテレビ、ラジオなどでお馴染みのキャスターの生島ヒロシさんを、大変お忙しい中、旭川にお迎えしまして、盛大に「金融経済講演会」を開催することといたしました。また、本講演会を開催するに当たりましては、北海道上川支庁、旭川市役所、旭川銀行協会、旭川生命保険協会、証券会社旭川支店のご協力を得ており、地域を挙げての活動といたすことができました。関係者の皆様方には本席をお借りまして、ご協力に感謝申し上げます。

本日の生島さんの講演会のテーマは、「心の健康、体の健康、財布の健康」ということでございます。私達の生活を豊かなものにするため

には、お金や「金融というもの」との付き合いを切り離して考えることはできません。一方で、昨今の金融に関する環境は大変複雑化、高度化してきておりまして、随分と分かりにくいものとなってきましたと言えます。こうした状況の中で、本日の生島さんのご講演からは、私達の生活を豊にしていく上でのヒントを与えていただけるものと確信しております。

ここで生島ヒロシさんのご経歴を簡単にご紹介いたします。

昭和25年12月に宮城県気仙沼市にお生まれです。その後、昭和46年には20歳で米国へ渡られ、昭和50年にカルフォルニア州立大学ロングビーチ校ジャーナリズム科を卒業され、TBSに入社されました。さらに50歳からファイナンシャル・プランナーの資格取得を目指され、平成14年に見事にその取得をされました。政府の「金融経済教育懇談会」のメンバーにもなっておられます。

また、ヘルスケア・アドバイザーの資格も持っておられ、趣味はゴルフ、社交ダンスから空手までと幅広く、特に空手は黒帯で、空手は米国へ渡られたきっかけにもなっておられるようですが、お金

に関してだけでなく、体、心の健康に関わる点でも興味深いお話が聞けるのではないかと、大変楽しみにしております。

本日は「金融経済講演会」ということで、タイトルは少々堅苦しいですが、中味はソフトで分かり易いお話と思います。1時間30分ほどですが、皆様方には生島ヒロシさんのトークをお楽しみいただきたいと思います。

それでは、ここにお集まりの皆様方の健康と、生島様の今後の益々のご活躍を祈念しまして、ご挨拶とさせていただきます。

どうもありがとうございました。